



藤田 まこと

No. 20

議会だより

二〇一五年九月

発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央1丁目22-5
 青森市議会
 社民党控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

平成27年 第3回定例会

9月補正・一部修正され可決

アウガ関連事業として、計上された情報コーナー運営管理事業実施について修正案が出され、本会議において賛成多数で修正案が可決した。



情報コーナー運営管理事業とは

現在、市役所本庁で土曜日市民課窓口を開設し、各種証明書の発行及び印鑑登録を行っています。

この市役所本庁での土曜日市民課窓口を閉めて、現在アウガ4階にある情報プラザに行政窓口を来年4月から開設するものです。その事務所の工事費として、一般財源約3600万円を計上しています。

情報コーナー運営事業費の修正案に賛成の理由（廃案）

現在、市役所本庁での土曜日市民課窓口開庁が定着、6年間実施され市民に周知されている事や、アウガの経営に資するために一般財源約3,600万円を工事費に費やす事は、市民サービスの向上には結びつかない。

どうしても日曜祝祭日に証明書が必要な市民に対して、自動交付機が1台につき年間1150万円の経費なので、日曜祝祭日に利用できるよう市役所本庁に設置すべきと考えます。

アウガの会長として、アウガ経営のため来客者を増やしたい気持ちは分かりますが、市長の立場で今回の補正予算の計上は疑問に思います。

主な補正予算

- 青森と首都圏をつなぐビジネス交流拠点構築事業費（アンテナショップ）
56,634千円 [交付金45,670千円]
- 農業移住・新規就農サポート事業
9,262千円 [交付金6,160千円]
- 多言語対応観光アプリ開発・運営事業
5,000千円 [交付金5,000千円]
- まちなか保健室運営事業
6,465千円 [交付金5,000千円]

* その他

- ・庁舎等耐震・整備事業
- ・流雪溝整備事業（戸山団地内既設融雪溝を活用）
- ・除排雪車両にGPS機器を試行設置
- ・まちづくり寄附制度推進事業（寄附者増の対応）
- ・社会保障・税番号制度導入事業（個人番号カード交付のため）
- ・児童福祉施設整備費補助金交付事務（5保育所整備の補助金交付）
- ・施設開設準備経費助成特別対策事業（老人施設・居宅介護施設への補助）
- ・地熱開発理解促進関連事業
- ・産地水産業強化支援事業

福祉の雪処理支援事業 （要件が大幅に緩和）

冬期間の屋根の雪下ろしが困難な高齢者等世帯に対し、屋根雪処理費用の一部を助成
 対象世帯：65歳以上高齢者のみの世帯、身体障害者・愛護手帳が一定の等級の障害者のみの世帯、18歳未満の児童を有する母子家庭等

＝対象要件の緩和＝

親族：市内に18歳以上の子・孫及びそれらの配偶者が移住していない親族要件を撤廃

収入：同一建物に居住する全員が市民税非課税世帯

これまで、25,000円を上限に雪処理費用の半額を助成 → 豪雪時には課税世帯も対象

非課税世帯

豪雪時 助成限度額を50,000円に引き上げ
 課税世帯 豪雪時

助成率 1/4（助成限度額を25,000円）

豪雪時とは：積雪1m超（豪雪対策本部設置時）

一般質問

公共サインについて

青森市内の公共的な標識に統一性がないことから、市としての取り組みについて2点聞いた。

1. 観光振興を目的とした公共サインについて

【これまでの取組】

答弁 青森市の歴史、景観、環境、文化、自然を観光客にわかりやすく御案内するため、平成20年度に青森市中心市街地及びその周辺に関する「サイン基本計画」を策定し、翌年に「青森市観光交流情報センター」の総合案内板をはじめ、寺院、公園などの施設案内板、矢印等のコース誘導サイン43基、まちなか散策コースの愛称表示板54箇所を設置した。

このほか、平成22年度から本市の外国人観光客の受入態勢の充実を図り、本市におけるインバウンドの促進及び国際観光を推進するため、本市独自の支援制度を設けながら、観光施設における案内板等の外国語表記を進めてきている。

2. 公共サインについて市統一的なガイドラインの策定について

【今後の対応】

市における統一的な指針となる公共サインガイドラインについては、その策定に当たり、国による各種ガイドライン等との整合性を図り、庁内関係部局を交えた多岐に渡る議論が必要であり、他都市におけるガイドラインの策定状況やその内容について、今後調査・研究を進めて参りたい。

要望事項

① 青森市も観光客の増加に伴って、トイレ及び各公共施設の場所の周知を提言しました。

② 遠くからでも、公共のトイレがわかるような仕組みが作れないか、遠くから認識出来るような標記の検討をお願いしました。

③ 青森駅前にある公衆トイレに「WC」表示がありますが、この際、一般的なピクトグラムでわかりやすい表示してと要望しました。

④ 市の公共施設内のトイレも、市民の皆さんが気軽に利用できるように入口に表示するよう要望しました。

※観光都市を目指している他都市では公共サインガイドラインが策定されている事から早期の策定を求めました。

他の一般質問の概要

2. 水難事故対策について

沖館川河口のような住宅街を流れる2級河川の水難事故防止対策を聞いた。

【答弁】

看板等危険箇所の表示を行っている。

要望

青森市内の沼、河川等の水難事故防止対策として、要所に救難器具の設置を求めました。

水難事故発生状況
青森警察署管内資料 平成27年8月下旬時

	水難事故	死亡事故	海	川	溜池
平成24年	3	0	1	2	2
平成25年	1	1	1		
平成26年	6	2	4	1	1
平成27年	2	2	2		

3. 青森駅周辺整備事業について

4. 家庭の訪問調査について

予算委員会

情報コーナーについて

① 平成21年8月～翌年3月の試行期間の結果を踏まえ、なぜ、改めて日祝日の情報コーナーの窓口の開庁を行うのか

答弁 試行的に実施した結果、利用者の多い土曜日だけの開庁をしてきた。開設の理由は、アウガが中心市街地に位置し年間400万人が来館する事、多くの市民の休日である土曜日、日曜祝日においても運営し、市民課に關わる業務のみならず、市税や税外等の収納事務を行う事により、市内全域にわたって利用者の利便性が高まり市民サービスの一層の向上が図られるものと考えた。

② 情報コーナー及びまちなか保健室における、勤務公署・体制及び休業日について

答弁 情報コーナー運営管理事業アウガ4階 人員検討中
まちなか保健室 アウガ5階1名 (看護師)
休業日は市民図書館の休館日を参考
③ 現在、本庁の土曜日の開庁時の各種証明書の発行件数は

答弁 発行件数
土曜日の年間9400件位
1日約1000人位

④ 本庁の土曜日開庁を止めるといふ事は、6年もの間、市民に馴染んできているのに、市民サービスの低下ではないのか。

答弁 日祝祭日の開庁になるので市民サービスの低下にはならない。
※以前試行期間の結果、費用対効果がないとして日祝祭日を閉庁した。

⑤ 自動交付機は1台設置費用はいくらか。

答弁 平成26年3月本庁舎・元氣プラザの自動交付機を更新、1台約1000万円 運用経費 年間150万円になった。
⑥ 整備費用として36,359千円、内訳は

答弁 情報コーナー整備費2300万円、システムに約800数十万円、備品費約400万円

⑦ アウガがリニューアルすれば、新たな経費が必要になるのでは

答弁 動くことはないのでは、必要にはならないと思う。
⑧ 万が一、アウガの経営が困難になった場合、商業フロアは立ち入り禁止になるのではないのか。

答弁 管理者が変わる事により一時的に立ち入り禁止になる可能性はある。
⑨ 来年4月からの情報コーナー運営費のおよその算定は

答弁 運営費2千万、人件費はまだ算定していない。
※最後に、この時期に一般財源3600万円余り事業提案は撤回するべきと提案しました。

その他
ノーマル残業デーの設置について

藤田まこと

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆
社民党控室 藤田まこと
TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902
ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>

